

綾音-震

あやね-ふる

FOR ADULT

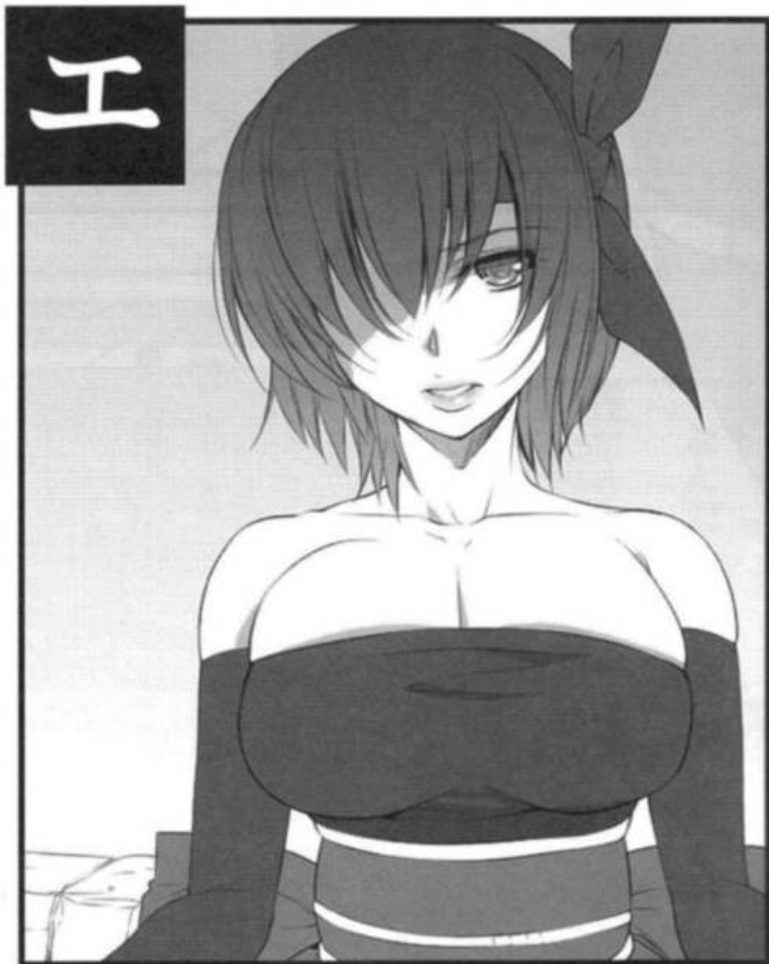
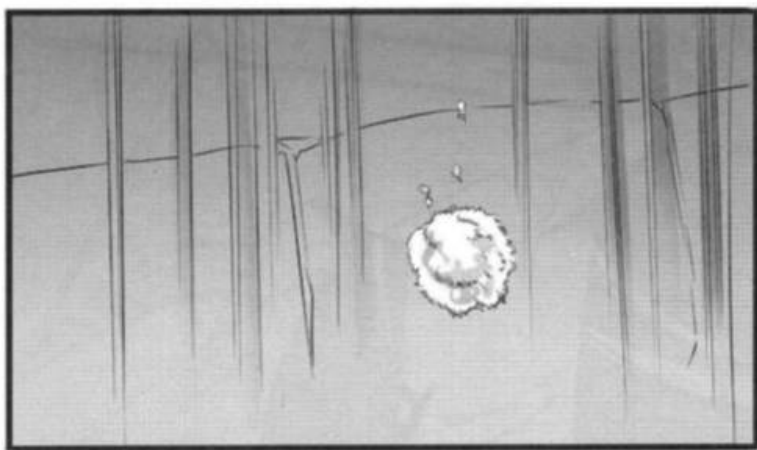
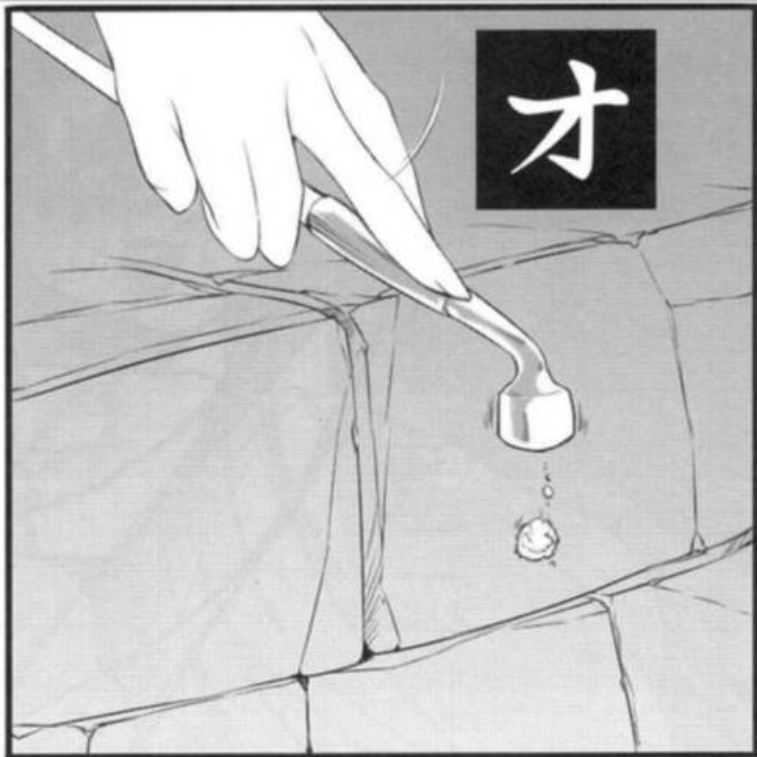


あらすじ

疾風のため里を抜け出した霞。
頭首の命令により綾音は追っ手となり
抜け忍の霞を捕らえる。
しかし、すぐには頭首へ引き渡さず
彼女を地下牢へと幽閉する
そこには村の男達が集っているのであった……

綾音一震



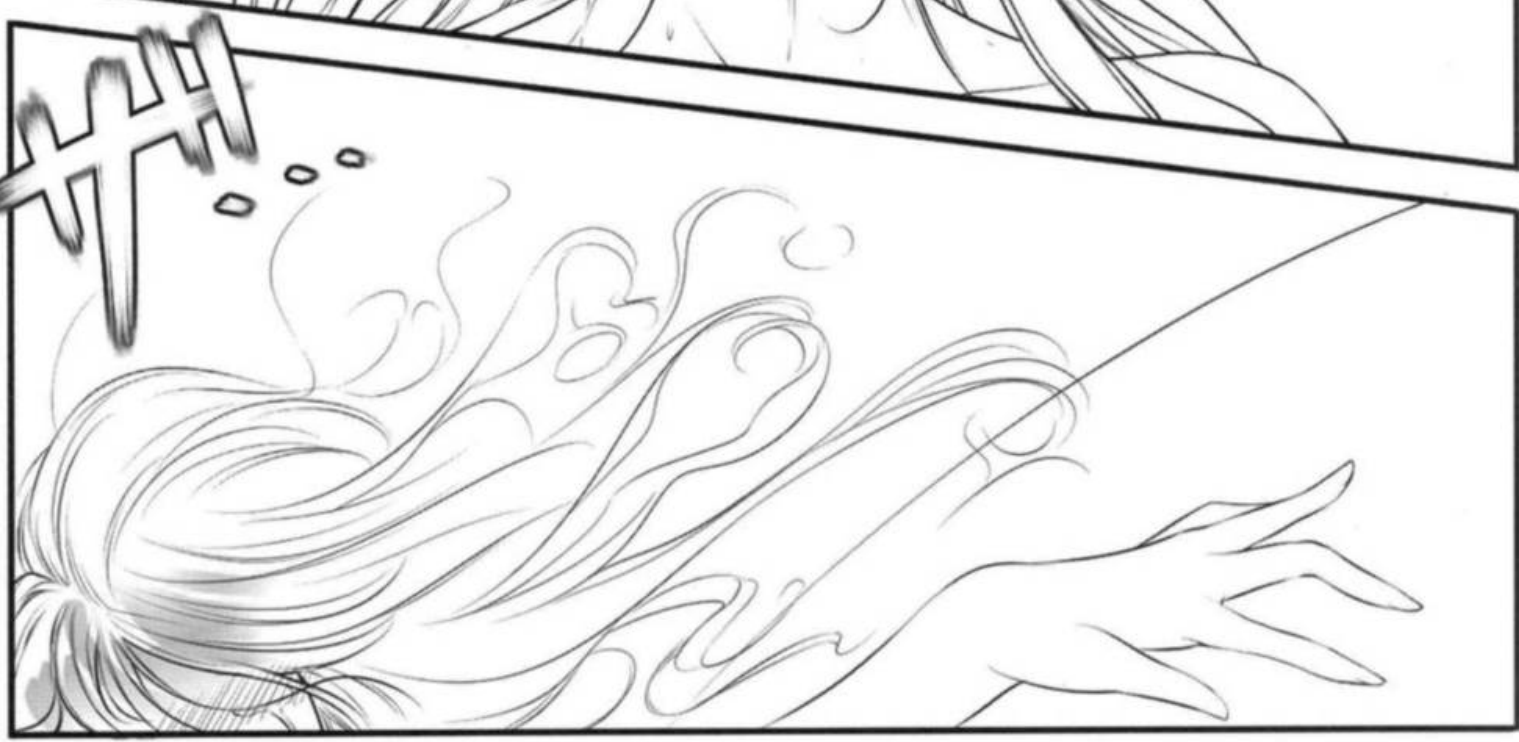






あ.....

ほあ



なんだあ もうバテたかよ
だせえ

ドサッ

ザッ

ザッ

ドッ

ブフフッ

これからなんだよ宴はさあ
くっくっく

しっかりしてくれよお

それにしても役得だよなあ
霞様を俺ごとき凡夫がよお



ハッ
ハッ
ハッ

綾音の姐さん様様だぜえ
まったくぐふっぐふっ



あのー

もう一回俺いいですかねえ

もう軌っちった

次は俺だったの
すっこんでろよ

ガマンできねえッ

おいおい
オマエもう三回目じゃねえの？

せっそうねえな

しっしっしっ
もういざ...

ビクビク
ビクビク
ビクビク

次オレな...



はっ

はっ

ふっ

あっ

あっ

よっしせいし

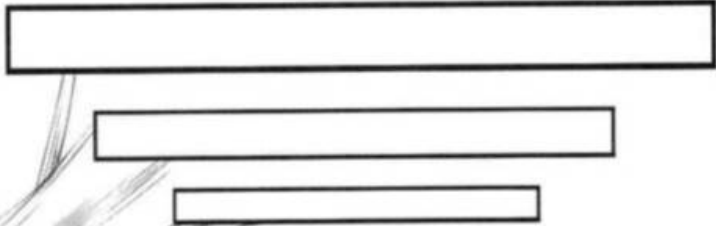
ピョッ

ピョッ





あの頃を...思い出すわね...



ね、綾音

またあの森へいこっか

面白いことたくさんあるよ

そうだ今日は
あそこに流れてる川で
魚でも捕ろうっ



……う、うん

きゅっ

でもいつも二人は
すぐにいなくなっ……

ひとときの逢瀬を繰り返す



兄と妹……
二人の恋は道ならぬ恋——

——初めてそれを見たときは衝撃だった



二人はいつも一刻ほど川遊びやかくれんぼから私をひとりぼっちにする

誰にも邪魔されぬ二人の秘め事のために

そう私は彼らのだしにされただけ



それがわかってからはそれとなくわざと抜け出すスキをつくるようにした

二人の行為をこっそりと覗くことが私の日課になった



それもあってか森の奥で行われる淫らな逢瀬は次第に数も増え……

私の孤独な時間も長くなる


ダメ…ダメ…



最初は寂しくって泣きそうだったけど

……だったけど

どうしようもない私は幼かった



大好きなお兄ちゃん
お姉ちゃん……

これだけそばにいても……
私は二人の瞳に映っていない

それだけが
ただただ寂しかった

それからしばらくして
兄妹と会うことがかなわなくなった

突然だった……

え……

えっ？

あ……

わかったか？
もうこの屋敷に近づくんじゃねえよ

今までよくばれなかったな

な？
わかったら
お嬢ちゃん
おれっちと遊ぼうぜえ
面白いこと
教えてやるよ

こずかいもやるし

自分の後ろめたい行為が
その結果を招いたと思ひ込み
ひたすらに後悔した……

ひた

ひ

直後――

気が緩んでいた私は
村の粗暴な男達に
路地裏へ連れ込まれ
そのまま……

うあ……

名も知らぬ男達に
処女を奪われた

コイツもう頭首様の一族と
なんの関係もないらしいぜ

その顔
未だに覚えている

オレ狙ってたんだよねえ
ぶふふう



それからずっと男達との関係は続けていた

これは自ら望んだこと

金がもらえる

「私」と引き換えに

あの兄妹が見捨てた私の価値……
金と男が教えてくれた





しばらくすると
私の噂は広まり
村以外の男達も声を
かけてくるようになった

たのむせお嬢ちゃん

ジュン



求められては安心する

私のココロはあの時から何も成長していない

ああそういえば
あの兄妹のことを思い出すことは

次第に無くなっていったな

あ...

あ...

ジュン

ジュン

ジュン

ジュン

ジュン

ジュン

数年後……



体だけ大きくなった私がそこにいた





こいつ金さえ払えば
ケツすらなめるぜえ

グッポン
ガッポン

おらっ
さっさとくわえろよ
評判の技あ期待してるぜ

あ...あ...

うひよお
こんな別嬪が
よおも下品な音たててよお



俺あ毎週こいつに貢いでるわあ

ああ、でも
もう他のオンナじゃ満足できねえよお

なんだかんだいって
高いよなコイツ

グッポン
グッポン

びゃっ

ゴッポン
ゴッポン

はあっ

そりゃあ増長したさ
私はそれだけの価値がある……



うるさいわね
おととい来なさいッ

おい
今日はちよっとまけてくれよッ

ただそれも男の欲望の供給が
満たされ溢れ
「私」の需要を超えたとき
なにもかもが空虚になった……



つまらないな……



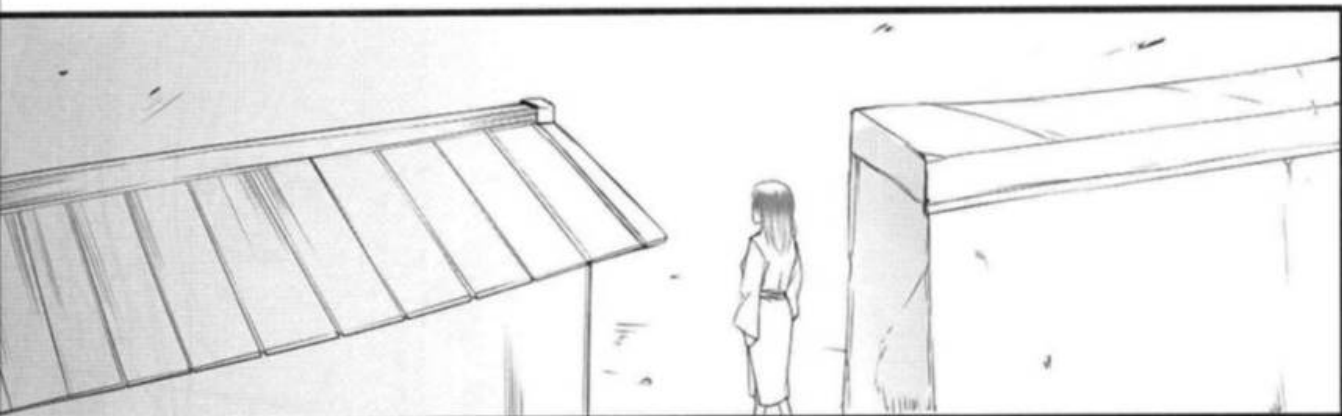
こんなに私を求める人がいるのに
「私」の価値を



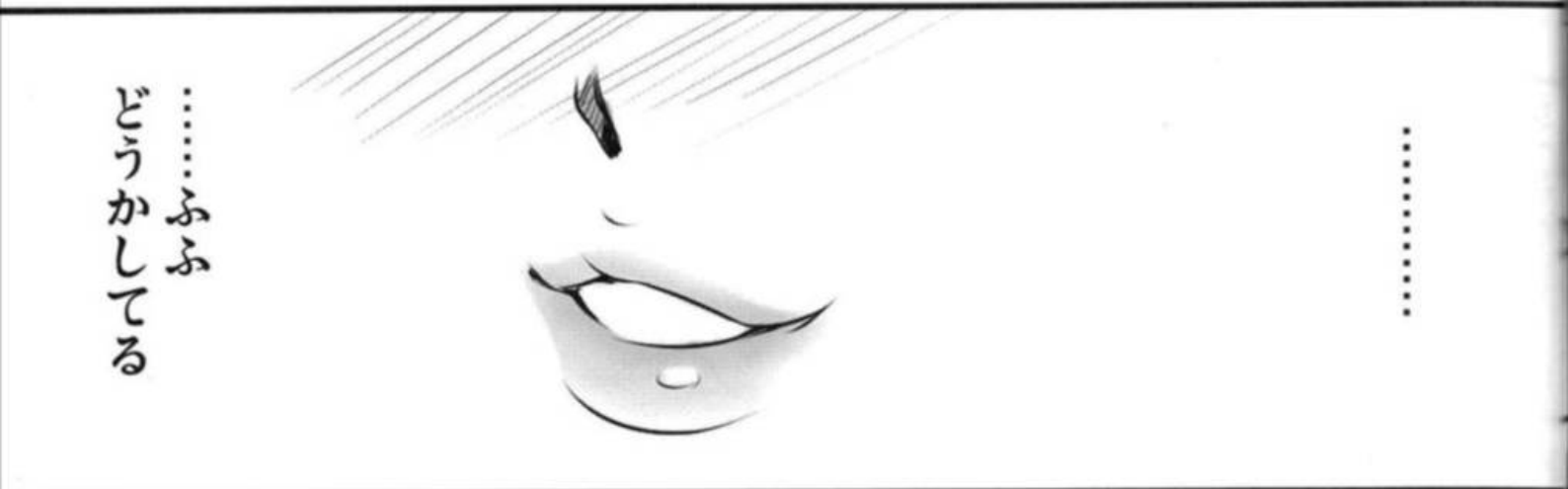
そんなある日だった
頭首と呼ばれる男が
私を見初めた

迷わなかった
今よりもきつとマシだと思ったから

数日後……



……は……



……
どうかしてる

……

あかね

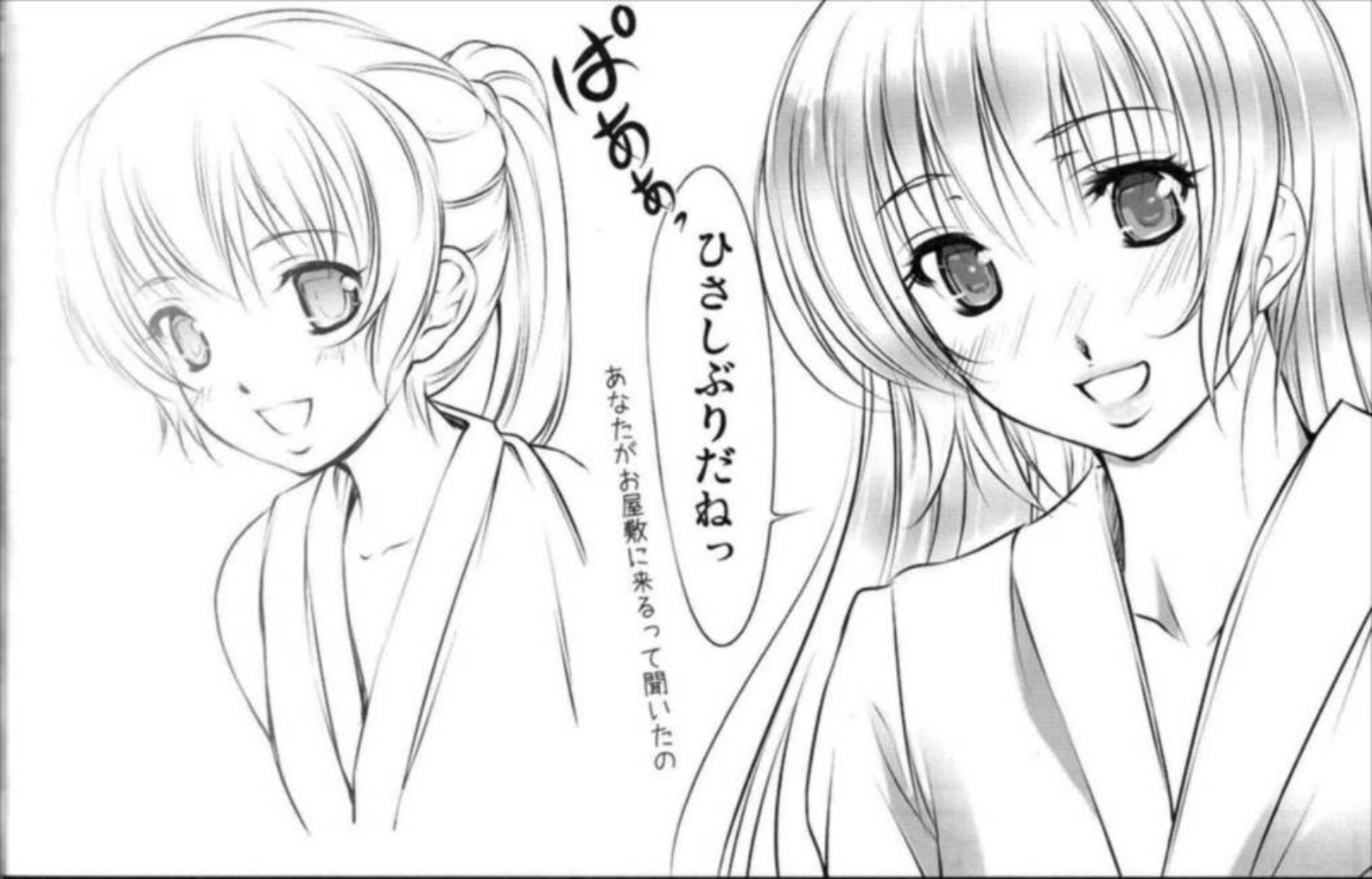
どうせ流行り病とかね
そんな結末だったたり



会えるとか期待しない

期待するもんですか

サアアアア



大きくなったな



昔はよく一緒に遊んだよね

今度お祭り……
一緒にいこっ

あとお……それからそれからあ

おい、
そんなに捲くし立てるなよ

そっぴええ、
今日はどうしてここへ？

や、屋敷のお手伝い……

へえ
お休みはいつ？

ま、まだ
来たばかりだから
わからない……

おい霞
そろそろ行くぞ

はい

じゃ
またあとでっ

まっ



あゝ

あゝ

ガッ

ゴッ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



どうじゃわしのは一味違うじやろうよ

まだまだ夜は長いぞ

似ておる
似ておるわい……

あ

どうしてオマエのような
下品な売奴をこの屋敷に呼んだか……

はあ

はあ

あ

なぜだかわかるか？

な、なんのこと……

もう
あ

はははははは

本当に価値のある
大事なモノには
手を出してはならぬからだ

ズブ

ギョギョ

はあ

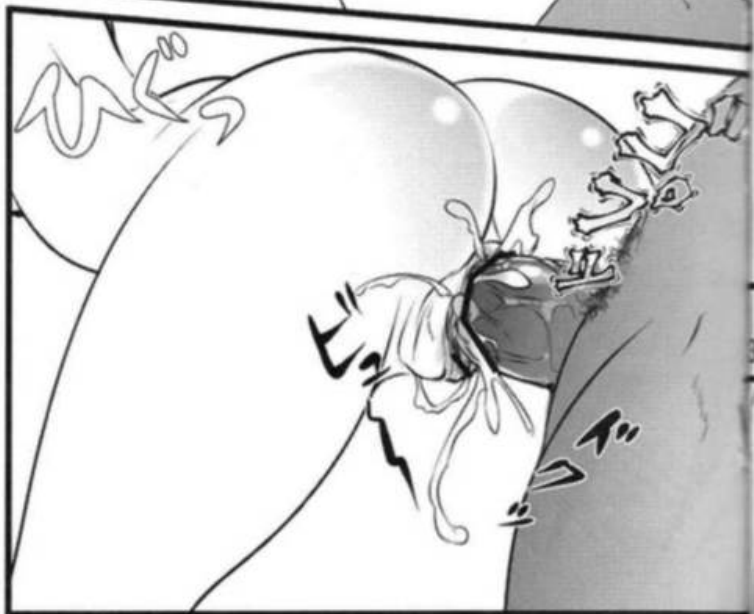
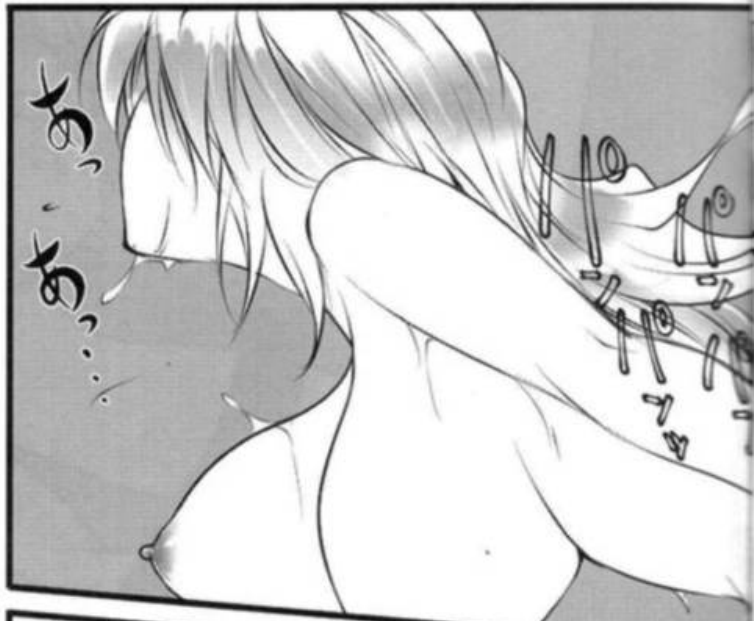
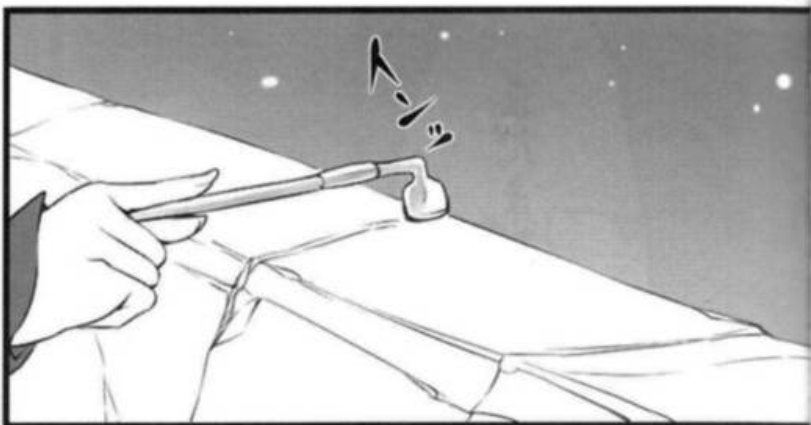
オマエは娘の
代用品だってことだ



これで最後じゃ
くっくっく







まだまだ宴はこれからよ……

はあ

はあ

ああ……

ああ

ジュン

ジュン

ジュン

ジュン

ネット

ネット……

……はあ

To be continued

あとがき

2冊目ですっ!(￣(エ)￣)ノ

「前作よりも更に漫画寄りにッ!」を意識してみましたがいかがでしょうか?(￣▽￣:)

まだまだ足らんとところ多いですが、よろしければ応援よろしくお願ひしますー

さて、今回は『前作「霞姦」と同じ時間軸の綾音編(回想あり)本』でした。

どうしても続編というか、このシチュエーションでの綾音視点も作りたかったので……

そのいじらしさやツンデレっぷりはまさに珠玉理想の妹キャラ(￣ー￣)ノシ

霞のあてつけだけで登場させるにはあまりにも不憫?だったのです(ー_ー)」

それと今回の話があることで、霞姦の見方もまたちょっと変わってくるかも??

思い入れ深く感じていただければこれ幸いですゞ(≥▽≤)〃

そしてあくまで予定ですが、

これらを踏まえての続編『綾音姦の上に霞姦(仮)本』制作する…かも…です。

もしくは新鮮刺激のため新しいジャンルとか……

しばらく期間が空くのでゆっくり考えます～ノシ

横十輔



綾音-震

あやね-ぶる

FOR ADULT

凶暴情緒帯

- 奥付 -

誌 名：綾音 - 震 (アヤネーブル)

発行日：2011年 12月31日 初版

作 者：横十輔

発 行：凶暴情緒帯

印 刷：コーシン出版 様

ご意見ご感想はこちらまで

mail：yoko@aria.saiin.net

HP：http://aria.saiin.net/~yoko

※本誌は成人向けの作品です。18歳未満の方の購読はご遠慮ください。
※本誌の内容を無断転載、複製、サーバー等へのアップロード行為を固く禁じます。



綾音は捕らえた霞を村の男達にあてがい

その美しい肢体が汚れていく様を眺めるのだった

犯され墮ちる霞を見て、綾音は過去を思い出す

長くは続かなかった兄妹と遊んだ日々……

失意の彼女を待ちうける男達の劣情に満ちた視線

そして綾音は男達に体を預け続ける、自身の価値の為に

